

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス実務 I		TCH106
講義名（コード）	TCH1A_ビジネス実務 I		TCH106
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	池内 美恵子	時間数	30
成績評価教員	池内 美恵子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、実務家教員による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	・人間力における、社会人教育分野の字ひの中で、学生が自己理解と自己管理能力向上を基礎に、現代社会でキャリアを発展させるに必要なビジネス実務の知識の習得を通してビジネス社会での一般的実務を理解できるようになる。
全体の内容と概要	・自らの商業観や労働観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利用活用など将来、職業人として適応するために身に付けるべき知識の習得。 B検ビジネス能力検定ジョブパス3級取得を目標とする
授業時間外の学修	・授業開始までに必ずテキストを一読してくること。 ・復習課題としてレポートの提出を求めることがあります。
履修上の注意事項等	・ビジネス実務の授業であると心得、授業態度、及び言葉遣い等に気をつけること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	・前期授業への取組、資格取得に向けモチベーションをあげる	・前期オリエンテーション・授業の受け方/予習復習への取組等について ・ジョブパス検定について
2	・ビジネスとコミュニケーションの基本を理解する 1/2	・キャリアと仕事のアプローチ・働く意義 ・仕事への取組み方・会社の基本とルール
3	・ビジネスとコミュニケーションの基本を理解する 2/2	・ビジネスとコミュニケーションの基本 ・単元の総括
4	・仕事の基本となる8つの意識を理解する1/4	・8つの意識 ・顧客意識・品質意識
5	・仕事の基本となる8つの意識を理解する2/4	・納期意識 ・時間意識・目標意識
6	・仕事の基本となる8つの意識を理解する3/4	・協調意識 ・改善意識・コスト意識
7	・仕事の基本となる8つの意識を理解する4/4	・仕事の基本となる8つの意識 ・単元の総括
8	・コミュニケーションとビジネスマナーの基本を理解する1/3	・コミュニケーションの基本・円滑なコミュニケーションのために ・コミュニケーションを支えるマナー
9	・コミュニケーションとビジネスマナーの基本を理解する2/3	・社会人としての身だしなみ・感じのよい挨拶・お辞儀の基本 ・仕事時の態度と健康管理・入社から退社までと休暇の基本ルール
10	・コミュニケーションとビジネスマナーの基本を理解する3/3	・コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・単元の総括
11	・指示の受け方と報告連絡相談を理解する1/2	・指示を受けるポイント・報告・連絡の仕方 ・連絡相談の仕方と忠告の仕方
12	・指示の受け方と報告連絡相談を理解する2/2	・指示の受け方と報告連絡相談 ・単元の総括
13	・前期1～12までの纏めを確認	・前期単元のまとめ ・前期期末試験のプレテスト
14	・前期期末試験	・前期期末試験実施
15	・前期期末試験のFD	・前期総括・前期期末試験のフィードバックを課題にて ◆第15回授業：8月8日（月）課題実施日

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	・ ISBN：9784898260678書籍名／ビジネス能力検定ジョブパス3級問題集 出版社：日本能率協会マネジメントセンター
参考文献・資料等	・ ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト
備考	